

倉敷室内管弦楽団

第6回定期演奏会



1980 **12/7** 日(日) 14:00~16:00

倉敷市民会館

主催 / 倉敷市・倉敷市教育委員会・倉敷市自主文化事業協会・倉敷市文化連盟・倉敷室内管弦楽団
後援 / NHK岡山放送局・山陽放送・岡山放送

ごあいさつ

倉敷室内管弦楽団第6回定期演奏会にご来場下さいまして大変ありがとうございます。今年5月に団伊玖磨氏作曲の「管弦楽のための高梁川」を初演し、大成功をおさめ、この楽団も年とともに成長のあとを見せております。

今回は、今までの演奏会と違い、一般的なシンホニー・オーケストラのプログラムが組まれています。

これは今迄の演奏会のアンケートにより、多くの希望のありました「新世界」を取り上げたもので、室内オーケストラとしては、いささか範疇をこえたものですが、市民の皆様にシンホニックなポピュラーの名曲を聴いて頂きたいと考えたからです。

それとともに、西独から若い将来を嘱望されているディーテルム・ヨナス氏を迎え、モーツアルトのオーボエ協奏曲を演奏することになりました。オーボエ協奏曲は、地方では聴く機会の少ないものですので是非とも聴いて頂きたいものです。

指揮者に若手として注目されている東京シティ・フィル常任指揮者の堤俊作氏を迎え、大変楽しい演奏会になるものと期待しております。

なお、ヨナス氏を倉敷に迎えるにあたり、ご尽力頂きました山陽学園短期大学、助教授・奥山勝太郎先生に心よりお礼を申し上げます。

倉敷室内管弦楽団 団長 小山裕章

プログラム

合奏協奏曲 作品6-6 ト短調……………ヘンデル

- 第1楽章 ラルゲット・アフエットウオーソ
- 第2楽章 アレグロ・マ・ノン・トロppo
- 第3楽章 ミュゼット
- 第4楽章 アレグロ
- 第5楽章 アレグロ

オーボエ協奏曲 ハ長調 K 314……………モーツアルト

- 第1楽章 アレグロ・アペルト
- 第2楽章 アダージョ・ノン・トロppo
- 第3楽章 ロンド・アレグレット

〈休憩〉

交響曲第9番 ホ短調 作品95「新世界より」……………ドヴォルザーク

- 第1楽章 アダージョ・アレグロ・モルト
- 第2楽章 ラールゴ
- 第3楽章 スケルツォ
- 第4楽章 アレグロ・コン・フォコ

出演者プロフィール

指揮

堤 俊作



1947年大阪の生まれ。故斎藤秀雄氏に学び、70年桐朋学園大学を首席で卒業し、'72年東京交響楽団を指揮してデビューを飾りました。以後、広く活躍をはじめ、オペラではロッシーニ「アルジェのイタリア女」、スメタナ「売られた花嫁」、モーツァルト「羊飼の王様」などを日本人として本邦初演しました。'73年スコットランドでデンマーク放送管弦楽団を指揮、'74年東京ユース交響楽団のヨーロッパ公演に同行、同年ロンドンのルパート指揮者コンクール入賞、サドラーズ・ウェルズ劇場での「蝶々夫人」など、イギリスや北欧で活躍。'75年には東京シティ・フィルを創立、ヨーロッパ演奏旅行を行いました。'78年ジュネーブ国際コンクール指揮部門、エルネスト・アンセルメ指揮者コンクールで最高位金賞を受賞しました。東京シティ・フィル常任指揮者、桐朋学園大学講師。

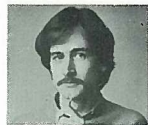
名指揮者スイットナーは堤俊作について、次のような賞賛をあたえています。

「日本の若手指揮者、堤俊作はジュネーブで行われた「アンセルメ・コンクール」で私に卓越した才能を示してくれました。それによって、彼は最高の賞を得ました。特に彼の確実なまでの古典に対する対処の仕方は魅力的です。彼の今後の活躍を願うとともに、今後の大成を信じています。」

オーボエ

Diethelm Jonas

(ディーテルム・ヨナス)



- 1953 レックリングハウゼン生れ。
- 1969 フォルクバング国立音楽大学(エッセン)にてPファイト教授に師事。
- 1973 ロンドンに留学ロイヤルアカデミーにてレディE、ロスウェルパピロリに師事。
- 1974 ミブラハの春、オーボエ部門入賞。
ロイヤルアカデミー最優秀賞で卒業。
エッセン国立フィルハーモニーオーケストラ
オーボエ奏者となる。
- 1976 フライブルク国立音楽大学にて、Hホリガー教授に学ぶ。
- 1977 ホリガー教授の助手をつとめる。
- 1978 フライブルク国立音楽大学最優秀賞をもって卒業(演奏家試験)
バイエルン放送交響楽団首席オーボエ奏者をつとめる。
- 1980 シュトゥットガルト・ラジオシンフォニーオーケストラの首席オーボエ奏者となる。
ミュンヘン・カンマーオーケストラと6週間
アメリカ全土演奏旅行。うち10回ほどのソロ
コンチェルトを行ない好評を得る。

倉敷室内管弦楽団主な演奏記録

●第1回定期演奏会 (S50.12.8)

ヘンデル	合奏協奏曲Op6-10
ヴィヴァルディ	協奏曲集「四季」より春夏
バッハ	カンタータBWV202 「いまぞ去れ悲しみの影よ」
小山茂茂	ブランデルブルグ協奏曲第4番
指揮/菊池 東	弦楽の為のアイヌの歌

●第2回定期演奏会 (S51.11.16)

ヴィヴァルディ	2つのトランペットの為の協奏曲
バッハ	ブランデルブルグ協奏曲第1番
レスピーギ	リュートの為の古代舞曲とアリア第3組曲
ポツェリニ	チェロ協奏曲変ロ長調
指揮/早川 正昭	チェロ/山崎 伸子

●ランパルと管弦楽の夕べ (S52.9.24)

テレマン	フルート協奏曲二長調
モーツァルト	フルート協奏曲第1番その他
指揮/早川 正昭	フルート/ランパル

●第3回定期演奏会 (S53.1.8)

ヘンデル	水上の音楽(ハレ版)
モーツァルト	ヴァイオリン協奏曲第3番
ドルゼーク	弦楽セレナーデホ長調
指揮/フォルカー・レニツケ	ヴァイオリン/和波 孝禧

●ゴールドブレンドコンサート (S53.11.3)

ウエストサイド物語・序曲	
ロッキーのテーマ	
スターウォーズのテーマ	
フィーリング・アラモ	
マイウェイ 他	
指揮/石丸 寛	ゲスト/雪村いづみ

●第4回定期演奏会 (S53.12.10)

ブリテン	シンプルシンフォニー
バッハ	二つのVnの為の協奏曲
モーツァルト	交響曲第38番二長調<ブラーハ>
モーツァルト	ピアノ協奏曲第20番二短調
指揮/菊池 東	ピアノ/深沢 亮子

●特別演奏会 (S54.7.15)

ヴィヴァルディ	バイオリン協奏曲イ短調
シューベルト	交響曲第8番ロ短調<未完成>
ベートーヴェン	バイオリン協奏曲二長調
指揮/根本 辰郎	ヴァイオリン/水島 愛子

●第5回定期演奏会 (S54.12.9)

モーツァルト	交響曲第40番ト短調
ハイドン	チェロ協奏曲第2番二長調作品101
ベートーヴェン	交響曲第1番ハ長調作品21
指揮/菊池 東	チェロ/安田謙一郎

●管弦楽の為の高梁川初演発表会 (S55.5.31)

ワーグナー	ニュルンベルグのマイスターズンガー前奏曲
モーツァルト	交響曲第38番二長調「ブラーハ」
團 伊玖磨	管弦楽の為の高梁川
指揮/團 伊玖磨	菊池 東

倉敷室内管弦楽団

団 長	： 小山 裕章	常任指揮者	： 菊池 東
運営委員長	： 田辺 幹夫	コンサート マスター	： 守屋美枝子
顧問	： 楢本 辰郎		

1st Violins :	谷 本 道 代	岡 本 あ き
守 屋 美枝子	武 本 克 己	
◎佐 藤 真理子	大 森 昌 恵	Bassoons :
高 橋 久 子	安 藤 智代子	◎稲 田 裕 彦
中 桐 佐知子	菊 池 東	原 田 克 也
安 藤 律 子		
茂 成 陽 子	Violoncellos :	Horns :
三 好 淳 子	◎楢 本 辰 郎	◎吉 市 幹 雄
越 宗 宣 良	田 辺 幹 夫	新 田 厚
陶 山 容 良	西 田 毅 雄	西 崎 大 修
井 川 孝 志	宇 野 義 雄	福 田 博 満
吉 信 雅 庸	光 延 勢 吾	二 倉 博 史
松 田 敏 彦	津 下 典 子	
黒 田 富美子	西 村 洋 子	Trumpets :
中 川 衛 子	植 月 薫	◎中 桐 実 三
	田 中 光 子	森 田 裕 三
2nd Violins :	Contrabasses :	Trombones :
◎稲 田 真 理	森 田 博 之	佐 藤 道 郎
坂 本 惠 理	谷 一 尚	佐 藤 正 俊
太 田 順 章	安 田 友 子	谷 口 一 夫
渡 部 幸 子	松 本 高 広	
三 崎 めぐみ	大 熊 桂 子	Bass tuba :
二 木 一 元		森 峰 茂 樹
奈 留 純 子	Flutes :	
岡 崎 妃佐子	森 本 悦 子	Cembalo :
野 田 裕 子	坂 口 充 倫	新 谷 祐 子
大 林 等 生		
赤 堀 佳 恭	Oboes :	Timpani :
山 本 恭 子	◎有 道 淳	陶 山 京 子
Violas :	角 田 容 子	西 岡 啓 治
◎黒 住 彰 夫		大 森 節 子
中 野 隆 重	Clarinetts :	
友 野 良 一	高 杉 玲 子	◎印 パートリーダー

倉敷室内管弦楽団は昭和49年12月に誕生し、年間3～4回の演奏活動を続けています。

本年度は5月に「管弦楽の為の高梁川」初演発表会、9月に倉敷音楽協会定期演奏会にてMozartピアノ協奏曲を協演しました。練習は毎週月曜日

7：00～9：30市民会館で行なっています。

入団御希望の方は下記へお問い合わせ下さい。
(場合によってはオーディションを行ないます)

田 辺 幹 夫 TEL (0862)63-3521